

令和7年度 第1回施設長会 会議資料

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

○連絡事項 川崎市社会福祉協議会人事異動等について …資料1

— 議 題 —

1 役員の選任及び各プロジェクト委員の報告について …資料2

2 令和6年度老人福祉施設協議会事業報告（案）について …資料3

3 各プロジェクト委員会の進捗状況等について …資料4

(1) 災害プロジェクト委員会について

(2) 人材プロジェクト委員会について

4 施設長会情報交換テーマについて …資料5

5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 …資料6

(1) 課題別部会（施設運営・人材確保等・災害対応）について

(2) 第22回かながわ高齢者福祉研究大会について

6 第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会（東京大会）について …資料7

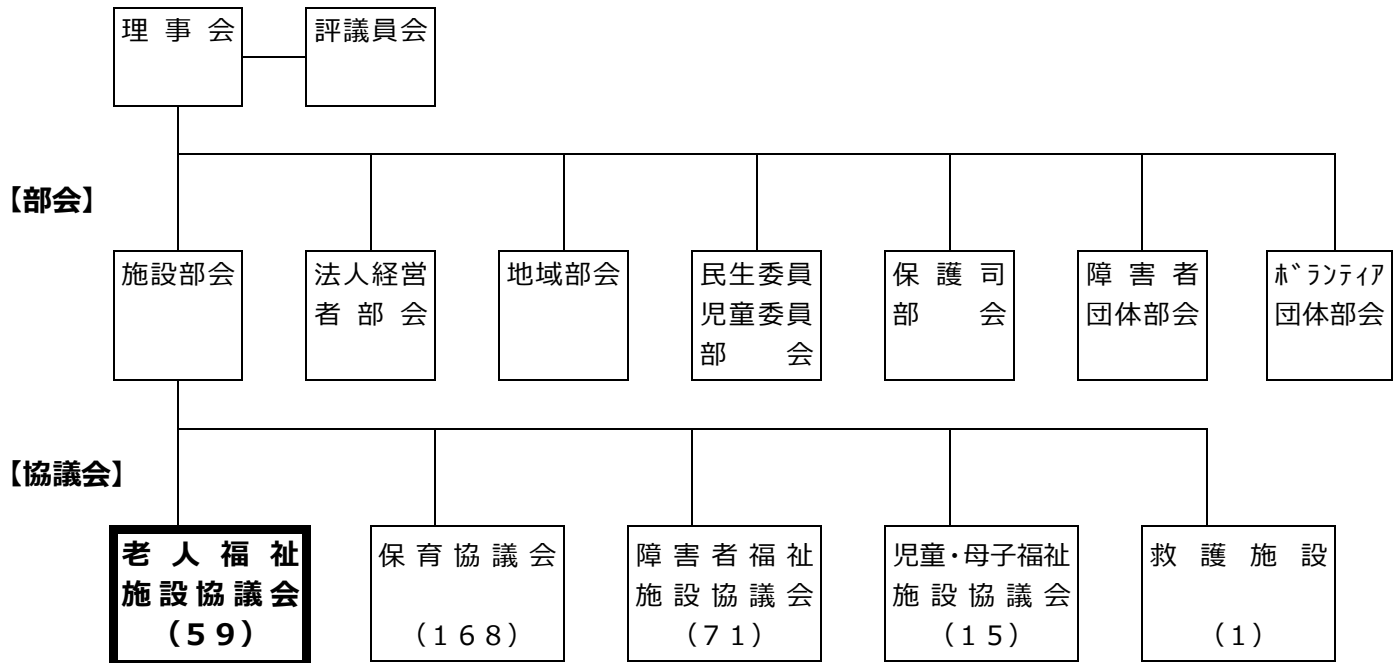
7 その他

・生活再建支援室より …別添資料

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会組織図

施設部会 老人福祉施設協議会 関係図

【市社協内組織】



【老施協内組織】

●施設長会（合同）

構成：市内老人福祉施設 施設長

●正副会長等会議

構成：正副会長、県老施協委員

オブザーバー：川崎市老人福祉施設事業協会

●災害プロジェクト委員会（平成 27 年度設置）

構成：会員施設代表

オブザーバー：川崎市老人福祉施設事業協会、行政 等

●人材プロジェクト委員会（平成 29 年度設置）

構成：会員施設代表

オブザーバー：川崎市老人福祉施設事業協会 等

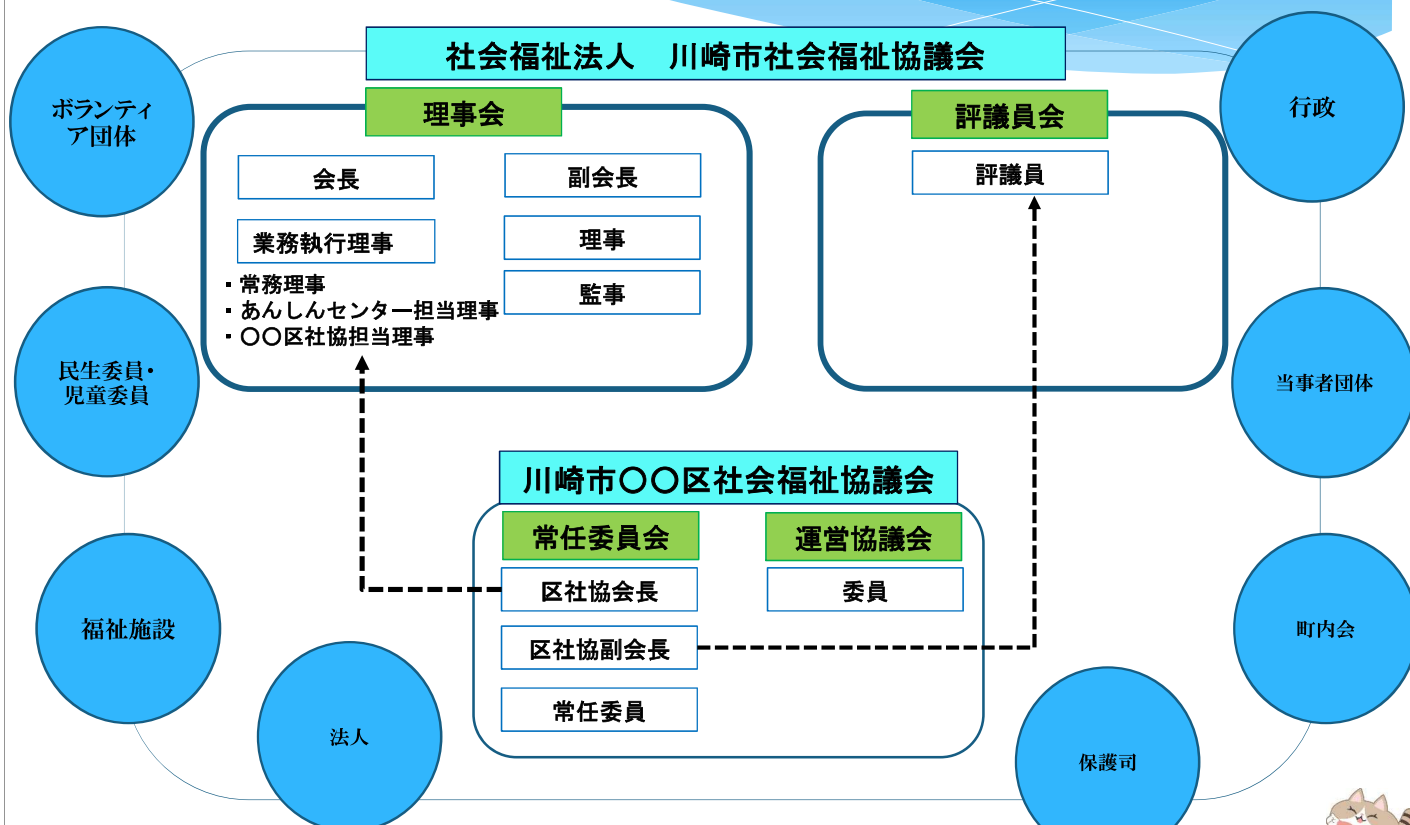
社協事務局体系図

(令和7年度)

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会							
ICT 推進室	総務部		福祉部		介護支援部	川崎市 あんしん センター	(通称) 川崎市〇〇区社会福祉協議会 (名称) 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会〇〇区支部
新事業 創設準備室	庶務課	総合福祉 センター	地域推進課	ボランティア 活動振興 センター	介護支援課	運営課 (終活支援担当)	地域課
	経理課	総合研修 センター	生活再建 支援室	施設事業 推進課	介護支援 事業所 (7区)	成年後見支 援センター	老人 いこいの家
	企画調整室	福祉人材 バンク		老人福祉 センター (7区)	地域包括 支援センター (大師中央・ 溝口・登戸)		



社協組織図



令和7年度 川崎市社会福祉協議会 関連職員の人事異動について

関連する役員、部課の職員・人事異動は次の通りです。

令和7年4月1日付

役職	現	前	備考
常務理事	邊見 洋之		
事務局長	久々津 裕敏		※川崎市から派遣
総務部長 ※新事業創設準備室 室長兼務	中島 洋一	小澤 竜騎	
総務部 企画調整室 室長	吉江 清嗣	平林 秀敏	※川崎市から派遣 法人経営者部会 地域生活支援SOSかわさき事業
総務部 福祉人材バンク 所長	山下 久美子		
総務部 総合研修センター 所長	平川 良一	荻野 るりか	
福祉部長 ※ICT 推進室 室長兼務	石川 直和	中島 洋一	
福祉部 施設事業推進課 課長	廣瀬 祐義		施設部会 大都市社会福祉施設協議会
施設事業推進課 課員	鈴木 哲生		老人福祉施設協議会 児童・母子福祉施設協議会
	大平 夏子	金子 泰彰	保育協議会 障害者福祉施設協議会
	尾花 勇人	戸倉 清和	老人福祉センター
福祉部 地域推進課 課長	儘田 哲郎	小田 浩範	
福祉部 生活再建支援室 室長	西田 圭佑		
福祉部 ボランティア活動振興センター 所長	泉井 京子	儘田 哲郎	
介護支援部長	丸山 美香		
川崎市あんしんセンター部長	小澤 竜騎	筒井 康仁	
新事業創設準備室 課長	平林 秀敏	—	令和7年度新設部署
新事業創設準備室 課長	小田 浩範	—	令和7年度新設部署
新事業創設準備室 課長	須山 祥聖	—	令和7年度新設部署

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会

各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期について

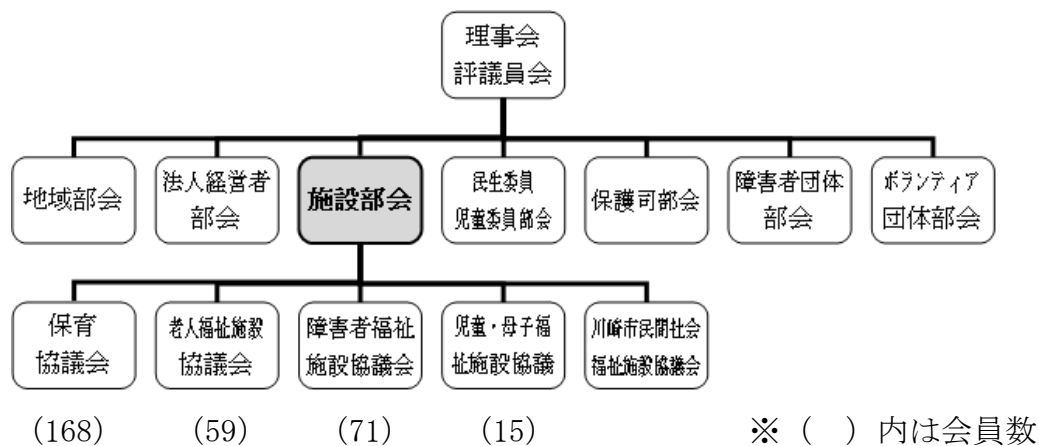
1 内容

川崎市社協の各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期については、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会部会規程第3条第4項により、2年となっております。

ただし、平成29年4月改正社会福祉法の施行もあり、各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期と市社協理事の改選年度が異なっておりました。

つきましては、施設部会を含め7つの部会の任期を本会理事の改選年度と揃えるため、令和4年度の役員改選における任期に限り、2年から1年に短縮することとする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 組織図



（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 部会規程（抜粋）
（正副部会長）

第3条 各部会に部会長1名、副部会長2名以内をおく。

2 部会長は会務を統括し、副部会長は、部会長に事故あるとき代行する。

3 正副部会長の選任は、各部会において互選とする。

4 正副部会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠により就任した場合は、前任者の残任期間とする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 理事等の任期について

種類／年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
理事		←→	←→	←→	←→	←→	←→
各部会正副部会長 （各協議会正副会長）	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会運営要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、川崎市社会福祉協議会施設部会運営要綱に基づき設置される川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下「本協議会」という。）の運営について必要な事項を定める。

(構 成)

第2条 本協議会は社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会員である老人福祉施設で構成する。

(役 員)

第3条 本協議会の円滑な運営を図るため、会長1名及び副会長2名を置く。

2 会長は会務を統括し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

(役員を選任)

第4条 会長の選任については、あらかじめ立候補期間を設け、立候補者の中から、施設長会において選任する。選任の方法については、施設長会においてその都度協議のうえ定める。

2 立候補がなかった場合は、施設長会において互選により選任する。

3 副会長は、会長が候補者を選出し、施設長会において選任する。

(会 議)

第5条 本協議会会長は必要に応じ別表に定める会議を招集し、その議長となる。ただし、施設長会の議長は、その都度選任する。

(委員会の設置)

第6条 本協議会は必要に応じ委員会を設置することができる。

(その他)

第7条 この要領を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

2 この要領に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、施設長会で協議のうえ定める。

附 則

この要領は平成23年4月1日から施行する。

附 則

この改定要領は平成24年11月1日から施行する。

附 則

この改定要領は令和2年4月1日から施行する。

(別 表)

会議名	構成
施設長会（総会含む）	本協議会会員施設の施設長
正副会長会議	正副会長

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会会長の選任方法

《事務局》

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設事業部 施設事業推進課

《選任方法》

- 1 会長の選任については次の方法から順次行い、令和7年度第1回施設長会（4月16日（水）開催予定）において選任する。
 - (1) 立候補
 - (2) 会員施設による推薦
- 2 **立候補**については次のとおり扱うこととする。
 - (1) 会長に立候補する者は、次の期間内に所定の用紙に立候補理由を記し、事務局に提出する。
〔立候補期間：2月27日（木）から3月13日（木）まで〕
 - (2) 立候補期間終了後、事務局から各会員施設へ立候補状況を報告し、立候補者の有無により次のとおり対応を行う。
 - ①立候補者がいる場合
立候補者がいる場合は、第1回施設長会において立候補者による所信表明を行い、信任を諮る。なお、立候補者が複数いる場合には下記の投票方法により選任を行う。
 - ②立候補者がいない場合
立候補者がいない場合は、次項3の推薦による選任を行う。
- 3 **推薦**については次のとおり扱うこととする。
 - (1) 上記の立候補期間内に会長への立候補がない場合には、各会員施設へ会長候補者の推薦依頼を行い、次の期間内に推薦を受け付ける。
〔推薦期間：3月14日（金）から3月25日（火）まで〕
 - (2) 推薦期間終了後、事務局から各会員施設へ推薦状況を報告する。なお、推薦のあった候補者には、現行の役員又は事務局より事前の連絡を行う。
 - (3) 推薦のあった候補者については、第1回施設長会において信任を諮る。なお、候補者が複数いる場合には下記の投票方法により選任を行う。

《投票方法》

- (1) 直接無記名投票とする。
- (2) 上位1位の票数を得、かつその得票数が出席施設の過半数を超えた者を当選とする。
- (3) 投票の結果、上位1位の者が出席施設の過半数を超える票を得なかった場合は、第1回目の投票の上位2名を候補者とし、第2回目の投票を行い、上位1位の票を得た者を当選とする。
- (4) 投票にあたり、次のものは無効票とする。
無記入、判読不可、候補者以外の氏名の記載、複数の候補者氏名の記載

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
役員改選等のスケジュールについて

令和 6 年度

	会議	役員改選	委員改選（災害 P・人材 P）
2 月	施設長会 【2/19（水）】	会長選任方法の確認	委員募集方法の確認
		会長立候補者の募集案内 《立候補期間》 2/27（木）から 3/13（木）まで	委員の募集案内 《募集期間》 2/27（木）から 3/13（木）まで
3 月		立候補状況を各施設へ報告 【3/14（金）】	
		会長候補者の推薦依頼 ※立候補者がいない場合 《推薦期間》 3/14（金）から 3/25（火）まで	
		推薦状況を各施設へ報告 【3/26（水）】	募集状況を各施設へ報告 【3/26（水）】

令和 7 年度

	会議	役員改選	委員改選
4 月	正副会長等会議 （4/4）※現行役員		
	施設長会 【4/16（水）】	会長の選任	新委員の報告 ※各委員会で正副委員長選任
6 月	正副会長等会議 （6/ ） ※新役員候補者		
	施設長会 【6/18（水）】	副会長等の選任	各委員会正副委員長の報告

会長候補者推薦書

	施設名	氏名
被推薦者	特別養護老人ホーム富士見プラザ	白井 裕一
推薦者	特別養護老人ホーム陽だまりの園	高橋 美智代
	特別養護老人ホームみかど荘	金子 江津子
	特別養護老人ホームおだかの郷	関口 英志
	特別養護老人ホーム柿生アルナ園	鈴木 聡
推薦理由	<p>長年にわたり高齢者福祉に深く関わり、その専門知識と幅広い情報量、経験を活かして多くの成果を挙げられております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により疎遠になりかけた老人福祉施設間のネットワークの再構築に尽力し、相互支援体制を強化されたことなどは、協議会の発展に大きく寄与した実績といえます。</p> <p>また、その温かい人柄と柔軟な対応力により、市内のみならず多くの市外法人や施設とも協力・連携関係を築いており、厚い信頼を得ております。</p> <p>副会長としての経験を活かして、困難なこれからの高齢者福祉の未来を乗り越えていくことに貢献されると確信しているため推薦いたします。</p>	

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
人材プロジェクト委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という。）人材プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 本委員会は、川崎市内の老人福祉施設のこれからの運営を担う新たな福祉人材の発掘及び育成とともに、既に働いている福祉人材がその専門性を活かして生き生きと活躍し、やりがいを持って働き続けられる環境を構築していくため、次の事項について検討する。

- (1) 新しい福祉人材の発掘及び育成に関すること
- (2) 市内で既に働いている福祉人材の養成及び定着に関すること
- (3) 介護福祉士養成校等との連携に関すること
- (4) 市内福祉人材養成関係機関との連携に関すること
- (5) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (6) その他本委員会が必要と認めたこと

(構 成)

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員）
- (2) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

(役 員)

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長2名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

(事務局)

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

(その他)

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年6月21日から施行する。

この改正要綱は、平成31年4月17日から施行する。

この改正要綱は、令和3年2月17日から施行する。

この改正要綱は、令和5年4月19日から施行する。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
人材プロジェクト委員会 委員名簿

■任期：令和５・６年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	所属先	所属先 役 職
1		川崎	古 敷 谷 耕 平	大師の里	施設長
2		川崎	伊 藤 規 子	しおん	施設長
3		川崎	和 田 泰 明	桜寿園	施設長
4	◎	中原	岩 壁 信 行	等々力	施設長
5	○	高津	平 山 み ち る	すえなが	施設長
6		多摩	茶 園 恵 美 子	多摩川の里	施設長
7		麻生	吉 野 英 明	金井原苑	苑長
－		－	清 水 完 敏	老人福祉施設協議会	会長

◎委員長 ○副委員長

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
人材プロジェクト委員会 委員候補者名簿

■任期：令和 7 ・ 8 年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	施設名	所属先 役 職	法人名
1		川崎	伊 藤 規 子	しおん	施設長	ハートフル記念会
2		川崎	和 田 泰 明	桜寿園	施設長	セイワ
3		中原	岩 壁 信 行	等々力	施設長	春日会
4		中原	福 芝 康 祐	ヴィラージュ中原	施設長	美生会
5		宮前	平 山 み ち る	鷺ヶ峯	施設長	セイワ
6		多摩	茶 園 恵 美 子	多摩川の里	施設長	川崎市社会福祉事業団
7		麻生	吉 野 英 明	金井原苑	苑長	一廣会
8						
9						

◎委員長 ○副委員長

※施設長会后、1～2名の追加募集を行いたいと思います。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
災害プロジェクト委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という）災害プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 本委員会は、本協議会の会員施設が発災時にも業務を継続して運営出来るよう、また市内の高齢者施設が連携することにより、利用者への安定したサービスが継続出来るよう、つぎの事項について検討する。

- (1) 職員の安全と行動に関すること
- (2) 利用者の安全とサービスの継続に関すること
- (3) 施設機能の維持と機能低下の予防に関すること
- (4) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (5) その他本委員会が必要と認めたこと

(構 成)

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員）
- (2) 委員の構成は川崎市内在いくつかのエリアに分け、それぞれの特性を考慮し選出する
- (3) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

(役 員)

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

(事務局)

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

(その他)

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は平成27年6月17日から施行する。

この改正要綱は令和3年2月17日から施行する。

この改正要綱は令和5年4月19日から施行する。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
災害プロジェクト委員会 委員名簿

■委員任期：令和５・６年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	所属先	所属先 役 職
1		川崎	見 原 啓 一	ビオラ川崎	施設長
2		幸	寺 下 敏 幸	幸風苑	施設長
3		中原	田 邊 浩 康	せせらぎ	施設長
4		中原	佐 藤 徹	ひらまの里	施設長
5		高津	登 坂 太 郎	和楽館	副施設長
6	○	宮前	稲 垣 仁 久	わらく桃の丘	施設長
7	◎	多摩	山 口 皓 史	生田まほろば	施設長
8		多摩	藤 谷 敬 一 郎	菅の里	施設長
9		麻生	佐 藤 香 一	潮見台みどりの丘	副施設長
—		—	清 水 完 敏	老人福祉施設協議会	会長

◎委員長 ○副委員長

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
災害プロジェクト委員会 委員候補者名簿

■委員任期：令和７・８年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	施設名	所属先 役 職	法人名
1		川崎	竹 本 健 寛	恒春園	施設長	馬島福社会
2		幸	亀 川 栄	南さいわい・こむかい	施設長	三篠会
3		中原	田 邊 浩 康	せせらぎ	施設長	春日会
4		中原	佐 藤 徹	ひらまの里	施設長	川崎市社会福祉事業団
5		高津	登 坂 太 郎	和楽館	副施設長	和楽会
6		宮前	稲 垣 仁 久	わらく桃の丘	施設長	和楽会
7		宮前	松 田 静 乃	風光・風知草・青田風	施設長	寿楽園
8		多摩	藤谷 敬 一 郎	菅の里	施設長	徳心会
9		麻生	島 中 敦	虹の里	施設長	慈生会

◎委員長 ○副委員長

川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 役員等の選任について

①老人福祉施設協議会正副会長

任期：令和 7・8 年度（2 ヶ年）

（敬称略）

役職	新	前
老人福祉施設協議会 会長		清水 完敏 (夢見ヶ崎)
老人福祉施設協議会 副会長		白井 裕一 (富士見プラザ)
老人福祉施設協議会 副会長		平山 みちる (すえなが)

◎川崎市社会福祉協議会施設部会に委員として参加

◎会長が川崎市社会福祉協議会理事、副会長 1 名が川崎市社会福祉協議会評議員

②神奈川県社協老人福祉施設協議会委員

任期：令和 7・8 年度（2 ヶ年）

（敬称略）

新	前
	清水 完敏 (夢見ヶ崎)
	白井 裕一 (富士見プラザ)
	平山 みちる (すえなが)
	田邊 亜佳音 (片平長寿の里)
	関口 英志 (おだかの郷)

◎川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会正副会長等会議に参加

③神奈川県社協老人福祉施設協議会課題別部会委員

任期：令和 7・8 年度（2 ヶ年）

（敬称略）

課題別部会	新	現
施設運営 に関する部会		白井 裕一 (富士見プラザ)
		関口 英志 (おだかの郷)
人材確保等 に関する部会		小林 秀夫 (新緑の郷)
		岩壁 信行 (等々力)

プロジェクト	新	現
災害対応 に関する部会		山口 皓史 (生田まほろば)
		稲垣 仁久 (わらく桃の丘)

※川崎市老施協会長は神奈川県老施協の正副会長を担うことになる。

神奈川県老施協副会長はいずれかの部会の担当副会長になる。

④関東ブロック老人福祉施設連絡協議会の川崎市代表

任期：令和7・8年度（2ヵ年）

（敬称略）

現	前
	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

⑤首都圏高齢者福祉協議会の川崎市代表

任期：単年度 ※第1回の会議において、正副会長選任

（敬称略）

新	前
	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

⑥川崎市社協ボランティア活動振興センター運営委員

任期：令和6・7年度（2ヵ年）

（敬称略）

現	前
長瀬 太 (保育協議会／あさのみ保育園)	清水 完敏 (老人福祉施設協議会／夢見ヶ崎)

※施設部会各協議会にて輪番制（保育→障害→児童・母子→老人）

⑦川崎市福祉人材バンク運営委員

任期：令和6・7年度（2ヵ年）残任期間

（敬称略）

新	現
	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

⑧福祉基金運営委員会委員

任期：令和6・7年度（2ヵ年）残任期間

（敬称略）

新	現
	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

参考：川崎市社会福祉協議会 今後の予定について

理 事 会：6月11日（金）14時～ エポックなかはら ※清水施設長

評議員会：6月27日（金）10時～ エポックなかはら ※白井施設長

理 事 会：6月27日（金）14時～ エポックなかはら ※新会長

令和6年度 川崎市社会福祉協議会 施設部会
老人福祉施設協議会 事業報告（案）

①施設長会

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
4 月 17 日	第 1 回	1 役員・委員等について 2 令和5年度老人福祉施設協議会事業報告（案）について 3 各プロジェクト委員会の進捗状況等について (1)災害プロジェクト委員会について (2)人材プロジェクト委員会について 4 施設長会情報交換テーマについて 5 施設部会ホームページについて 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1)かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会について (2)課題別部会（施設運営・人材確保等・災害対応）について 7 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 (1)第1回代表者会（4/11）について (2)第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会（長野大会）について 8 その他 ・川崎市福祉人材バンク ※同日、情報交換会の開催	1 事務局より説明後、承認 2 事務局より説明後、承認 3 各委員長より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明 7 事務局より説明 8 事務局、福祉人材バンクより説明 ※情報交換会 「介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるか」 ①特別養護老人ホーム みんなと暮らす町 広嶋施設長より説明 ②情報交換	て く の かわ さ き ホ ー ル ・ オンライン
6 月 19 日	第 2 回	1 各種委員の推薦について 2 各プロジェクト委員会の進捗状況等について (1)災害プロジェクト委員会について (2)人材プロジェクト委員会について 3 施設長会情報交換テーマについて 4 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について 5 施設部会より (1)運営推進会議の設置について (2)ふくしの出張講座について (3)施設部会ホームページについて (4)川崎市社協会員について	1 事務局より説明後、承認 2 各委員長より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明後、承認 5 事務局より説明 ※(4)については、副実行委員長より補足説明 6 事務局より説明 7 事務局より説明 ※情報交換会 「経営政策研究ワーキングで協議した内容（人材育成）について」 ①情報交換 ②その他	て く の かわ さ き ホ ー ル ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		6 神奈川県社会福祉協議会施設部 会老人福祉施設協議会より (1)委員会 (5/21) について (2)第 22 回かながわ高齢者福祉 研究大会実行委員の選出につい て (3)第 43 回全国社会福祉法人経 営者大会 (8/29・30) について 7 その他 ・川崎市総合研修センター ※同日、情報交換会の開催		
8 月 28 日	第 3 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状 況等について (1)災害プロジェクト委員会に ついて (2)人材プロジェクト委員会に ついて 2 施設長会情報交換テーマについ て 3 神奈川県社会福祉協議会施設部 会老人福祉施設協議会 (1)総会 (6/27) について (2)第 22 回かながわ高齢者福祉 研究大会について 4 関東ブロック老人福祉施設連絡 協議会 (1)第 2 回代表者会 (5/21) につ いて (2)第 59 回関東ブロック老人福 祉施設研究総会 (長野大会) につ いて 5 施設部会より (1)ふくしの出張講座について (2)食糧支援かわさきについて (3)第 1 回研修会 (9/11) 及び第 2 回研修会 (9/26) について 6 その他 ・川崎市総合研修センター ※同日、情報交換会の開催	1 各委員長より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明 ※情報交換会 「介護報酬改定を受けて取 り組みが変化したことや 新たに取り組むようにな ったこと」 ①情報交換 ②その他	て く の か わ さ き ホ ー ル ・ オンライン
10 月 16 日	第 4 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状 況等について (1)災害プロジェクト委員会に ついて (2)人材プロジェクト委員会に ついて 2 施設長会情報交換テーマにつ いて 3 民間社会福祉施設従事者福利厚 生費助成事業を活用したオンラ イン研修内容について	1 各委員長より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 ※食糧支援かわさきへの 協力に御礼 6 事務局より説明 7 事務局より説明後、清水 会長より補足説明 8 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 第 3 会 議 室 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		4 第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会での発題数について 5 施設部会より (1) ふくしの出張講座について (2) 食糧支援かわさきについて 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 第 2 回委員会 (9/27) について 7 第 59 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 (長野大会) について 8 その他 ・ 川崎市総合研修センター ※同日、情報交換会の開催	※情報交換会 「物価高騰に伴い事業者との関りで困っていること、不安に感じていること」 ①情報交換 ②その他	
12 月 18 日	第 5 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について (1) 災害プロジェクト委員会について (2) 人材プロジェクト委員会について 2 施設長会情報交換テーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 第 2 2 回かながわ高齢者福祉研究大会について (2) 高齢者福祉施設 PR 委員会について 4 第 6 0 回関東ブロック老人福祉施設研究総会について 5 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 6 その他 ・ 川崎市総合研修センター ・ 川崎市福祉人材バンク ※同日、情報交換会の開催	1 各委員長より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明 ※(1)については平山副実行委員長より補足説明 4 事務局より説明 5 東京都高齢者福祉施設協議会 田中会長、神奈川県社協老人福祉施設協議会 西山会長より説明 6 事務局より説明 ※情報交換会 「物価高騰・人材確保・人事管理等の対応で施設長として悩むこと」 ①情報交換 ②その他	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
2 月 19 日	第 6 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について (1) 災害プロジェクト委員会について (2) 人材プロジェクト委員会について 2 施設長会情報交換テーマについて 3 役員改選について 4 令和 7 年度事業計画 (案) について 5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 ・ 第 3 回委員会 (2/6) について	1 各委員長より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明後、承認 4 事務局より説明後、承認 5 事務局より説明 6 事務局より説明 ※情報交換会 「各施設で今年度一番対応に困ったこと」 ①情報交換 ②その他	川崎市総合 自 治 会 館 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		<p>【第22回かながわ高齢者福祉研究大会・高齢者福祉施設PR委員会の内容含む】</p> <p>6 第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会（東京大会）について</p> <p>※同日、情報交換会の開催</p>		

※川崎市老人福祉施設事業協会施設長会と合同実施。

②正副会長等会議

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
4 月 5 日	第 1 回	<p>1 役員・委員等について</p> <p>2 令和5年度事業報告（案）について</p> <p>3 各プロジェクト委員会の進捗状況等について</p> <p>4 施設長会の情報交換テーマについて</p> <p>5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会について ・課題別部会（施設運営・人材確保等・災害対応）について ・令和6年度事業計画について <p>6 第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会（長野大会）について</p> <p>7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市老人福祉施設事業協会より 	<p>1 事務局より説明後、協議</p> <p>2 事務局より説明後、協議</p> <p>3 事務局より説明</p> <p>4 事務局より説明後、協議</p> <p>5 事務局より説明後、白井副会長より補足説明</p> <p>6 事務局より説明</p> <p>7 事業協会より説明</p>	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
6 月 6 日	第 2 回	<p>1 各種委員の推薦について</p> <p>2 各プロジェクト委員会の進捗状況報告について</p> <p>3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会委員会（5/21）について</p> <p>4 第22回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員の選出について</p> <p>5 施設長会情報交換テーマについて</p> <p>6 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について</p> <p>7 施設部会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議について ・ふくしの出張講座について ・施設部会ホームページについて 	<p>1 事務局より説明後、承認</p> <p>2 事務局より説明</p> <p>3 事務局より説明</p> <p>4 事務局より説明後、協議</p> <p>5 事務局より説明後、協議</p> <p>6 事務局より説明後、協議</p> <p>7 事務局より説明</p>	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
8 月 1 日	第 3 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況報告について 2 施設長会情報交換テーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 ・総会（6/27）について ・第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会について 4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 ・第 2 回代表者会（6/27）について ・第 59 回関東ブロック老人福祉施設研究総会（長野大会）について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
10 月 2 日	第 4 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換のテーマについて 3 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業を活用しての研修内容について 4 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会について 5 第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明 5 事務局より説明後、平山副実行委員長より補足説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
12 月 2 日	第 5 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換のテーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会について ・第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会 ・高齢者福祉施設 PR 委員会 4 第 60 回関東ブロック老人福祉施設研究総会（東京大会）について 5 第 65 回大都市社会福祉施設協議会の国などへの要望事項について 6 全国老人福祉施設協議会について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、平山副実行委員長より補足説明 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
2 月 5 日	第 6 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会の情報交換会について 3 役員改選について 4 令和7年度事業計画（案）について 5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について ・第22回かながわ高齢者福祉研究大会について ・高齢者福祉PR委員会 6 第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明後、平山副実行委員長より補足説明 6 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

③災害プロジェクト委員会

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
5 月 27 日	第 1 回 班 長 会 議 第 1 回	1 令和6年度川崎市総合防災訓練への御協力について 2 災害プロジェクト委員会・防災班長会議の取組みについて 3 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会災害対応部会について 4 各班の訓練の取組み状況について	1 健康福祉局危機管理担当より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、山口委員長より補足説明 4 各委員より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
7 月 1 日	第 2 回 班 長 会 議	1 令和6年度川崎市総合防災訓練における二次避難所立上げ訓練及び情報伝達物資移送訓練について 2 施設間連携強化の取組みについて 3 災害対応に関する研修会について 4 各班の訓練等取組み状況について 5 その他 ・市内単独デイへのE-WelfissIDの付与について ・神奈川県社会福祉協議会研修会について	1 健康福祉局危機管理担当より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 各委員より説明 5 事業協会より説明後、協議 事務局より説明	エ ポ ッ ク な か は ら ミーティング グ ル ー ム ・ オンライン
9 月 1 日	川崎市総合 防 災 訓 練 ・ 物 資 移 送 訓 練	1 二次避難所立上げ訓練 2 情報伝達・物資移送訓練	台風接近のため中止	金 井 原 苑

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
9 月 4 日	第 3 回 班 長 会 議 第 3 回	1 令和6年度 E-Welfiss 及び防災無線機を活用した情報伝達訓練について 2 施設間連携強化の取り組みについて 3 災害対応に関する研修会について 4 各班の訓練等取組み状況について	1 健康福祉局危機管理担当より説明後、麻生区委員より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明後、協議 4 各委員より説明	エポック なかはら ミーティング グループ ・ オンライン
9 月 18 日	横浜市社協 高 齢 福 祉 部 会 災 害 対 策 プ ロ ジ ェ ク ト と の 意 見 交 換 会	1 自己紹介 2 各市での取組報告 3 水害想定と土砂災害想定に わかれてグループワーク	1 参加委員より自己紹介 2 各市委員長より報告 3 グループワーク 17 名参加	横 浜 市 健 康 福 祉 総 合 セ ン タ ー 大 会 議 室
10 月 29 日	研 修 会	テーマ： BCP 訓練の手法と実践 ※講話・演習(グループワーク) 講 師： MS&AD インターリスク総研株式 会社 西川耀氏	24 名参加	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 大 会 議 室
11 月 6 日	第 4 回 班 長 会 議 第 4 回	1 令和6年度 E-Welfiss 及び MCA 無線を活用した情報伝達訓練 について 2 施設間連携強化の取り組み (9/18) について 3 災害対応に関する研修会 (10/29) について 4 各班の訓練等取組み状況につ いて	1 健康福祉局危機管理担当 より説明 2 事務局より説明後、各委 員より振り返り 3 事務局より説明後、参加 委員より振り返り 4 各委員より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
1 月 21 日	第 5 回 班 長 会 議 第 5 回	1 E-Welfiss 及び防災無線機を活 用した情報伝達訓練実施結果 について 2 令和7年度事業計画(案)につ いて 3 役員改選について 4 各班の訓練の取り組み状況に ついて 5 E-Welfiss 及び防災無線機の仕 様について	1 健康福祉局危機管理担当 より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事業協会より説明 4 各委員より説明 5 事業協会より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

※他、行政との災害に関する各種打合せを実施

④人材プロジェクト委員会

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
5 月 15 日	第 1 回	1 介護保険制度の動向と人材の関係性について 説明：社会福祉法人照陽会 法人本部 事務局長 広嶋真結子氏 2 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 3 福祉の仕事紹介動画「介護の仕事って？」について 4 人材定着に関するアンケートについて 5 川崎市総合研修センター研修アドバイザーについて 6 外国人技能実習制度の取り組みについて 7 情報共有	1 広嶋事務局長より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明後、協議 アドバイザー候補者選出 6 事務局より説明 7 各委員より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
5 月 17 日	第 1 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：18 名 福祉パルなかはら：18 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル な か は ら
7 月 17 日	第 2 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 福祉の仕事紹介動画「介護の仕事って？」について 3 人材定着に関するアンケートについて 4 外国人技能実習制度の取り組みについて 5 情報共有	1 事務局より説明後、担当 委員より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、打合せ 参加委員より補足説明 5 各委員より説明	エ ポ ッ ク な か は ら ミーティン グ ル ー ム ・ オンライン
7 月 19 日	第 2 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：22 名 福祉パルたかつ：21 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル た か つ
9 月 13 日	第 3 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：18 名 総合福祉センター：21 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
9 月 25 日	第 3 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 福祉の仕事紹介動画「介護の仕事って？」について 3 人材定着に関するアンケートについて 4 かわさき若者サポートステーション／コネクションズかわさきについて 5 総合研修センター研修アドバイザー意見交換 (7/9) について	1 事務局、担当委員より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 委員長より説明 5 担当委員より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
11 月 12 日	第 4 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について（福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：13 名 福祉パルみやまえ：14 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル み や ま え
11 月 27 日	地 元 で 活 躍 す る 企 業 と の 交 流 会	1 参加 4 企業からの事業説明 2 15 分×4 回のグループ交流 ※3～4 名を 1 グループとして 各企業と交流	参加者： 20 代～40 代の求職者 14 名 協力施設： 特別養護老人ホーム新緑の郷	て く の か わ さ き 研 修 室
12 月 3 日	第 4 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 地元で活躍する企業との交流会（11/27）について 3 学生・若年求職者との合同企業就職説明会について 4 企業応援センターかわさきについて 5 厚生労働省「介護人材確保に向けた取組み」について 6 介護のしごと魅力発信等事業ニュースレターについて 7 人材確保・育成・定着に向けた今後の取り組みについての意見交換	1 事務局、担当委員より説明 2 事務局、委員長より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明 6 事務局より説明 7 委員意見交換	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター ボ ラン ティ ア 交 流 室 ・ オンライン
1 月 15 日	第 5 回	1 今年度の委員会運営体制について 2 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 3 第 6 回人材プロジェクト委員会について 4 令和 7 年度の取り組みについて 5 委員募集について	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議 5 事務局より説明	エ ポ ッ ク な か は ら ミーティング ル ー ム ・ オンライン
1 月 17 日	第 5 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について（福祉の仕事・資格の案内） 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：25 名 多摩市民館：16 名	ハローワーク 川 崎 ・ 多 摩 市 民 館

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
3 月 14 日	第 6 回 福祉の仕事 説 明 会	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答	参加者 ハローワーク川崎：16 名 福祉パルあさお：12 名	ハローワーク 川 崎 ・ 福 祉 パ ル あ さ お
3 月 19 日	第 6 回	1 インドネシア日本語学校 CBI 訪問について 2 ハローワーク「福祉の仕事」説 明会について 3 令和 7 年度事業計画(案)につ いて	1 委員長より説明 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議	川崎市総合 自 治 会 館 ・ オンライン

※他、人材に関する各種打合せを実施

⑤関東ブロック・首都圏・神奈川県等老人福祉組織関係
・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
4 月 11 日	第 1 回 関東ブロック 老人福祉施設 連 絡 協 議 会 代 表 者 会	1 令和 5 年度都県市事業活動費助成金について 2 令和 5 年度一般会計収支補正予算（案）に ついて 3 令和 6 年度事業計画（案）について 4 令和 6 年度一般会計収支予算（案）について 5 令和 6 年度グループ別活動費助成要項（案） 及び令和 6 年度都県市事業活動費助成要項 （案）について 6 令和 5 年度グループ別活動助成金について 7 令和 5 年度都県市事業活動費助成金について 8 第 59 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 （長野大会）について 9 令和 6 年度介護報酬改定について	清水会長	オンライン
6 月 27 日	第 2 回 関東ブロック 老人福祉施設 連 絡 協 議 会 代 表 者 会	1 令和 5 年度事業報告について 2 令和 5 年度一般会計収支決算について 3 第 59 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 （長野大会）開催要項について 4 第 60 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 （東京大会）概要について	清水会長	ホ テ ル メ ト ロ ポ リ タ ン エドモンド
10 月 3 日	第 3 回 関東ブロック 老人福祉施設 連 絡 協 議 会 代 表 者 会	1 第 59 回関東ブロック研究総会（長野大会） について 2 各都県市代表者情報交換	清水会長	ホ ク ト 文化ホール

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
10月3日 ～ 10月4日	第 5 9 回 関東ブロック 老人福祉施設 研 究 総 会 (長野大会)	1 オープニングアトラクション ：長野日本大学高等学校吹奏楽部 2 開会式典 3 行政報告 「高齢者福祉に関する最近の施策動向」 厚生労働省老健局高齢者支援課 課長 峰村浩司氏 4 基調報告 全国老人福祉施設協議会 会長 大山知子氏 5 記念講演 「泣いて笑って金メダル。そして、今…。」 オリンピック金メダリスト 荻原健司氏 6 分科会研究発表(15分×49題) 第1分科会「認知症対応/医療・介護連携、 看取り」 第2分科会「自立支援(リハビリテーション・ 機能訓練、口腔、栄養)」 第3分科会「経営」 第4分科会「人材確保・育成・定着」 第5分科会「在宅・デイ」 第6分科会「軽費老人ホーム・ケアハウス」 第7分科会「養護老人ホーム」 ※川崎市からの研究発表はなし	参加人数： 1,100名	ホ ク ト 文化ホール 第1～4分科会 ホテルメトロ ポリタン長野 第5～7分科会 シャトレーゼ ホテル長野

・首都圏高齢者福祉協議会
未実施

・神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会

県老施協委員：清水完敏氏（夢見ヶ崎）、白井裕一氏（富士見プラザ）、平山みちる（すえなが）、
関口英志氏（おだかの郷）、田邊亜佳音氏（片平長寿の里）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
5月21日	第 1 回 委 員 会	1 令和5年度事業報告並びに収支決算（案）について 2 令和6年度補正予算（案）について 3 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて 4 高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）の設置について 5 課題別部会について 6 総会・研修会について	県老施協委員	県社会福祉 セ ン タ ー
6月27日	第 1 回 総 会 ・ 第 1 回 研 修 会	1 委員の交代について 2 令和5年度事業報告並びに収支決算（案）について 3 令和6年度補正予算（案）について 4 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて 5 高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）の設置について 6 課題別部会について	県老施協 会員施設等	県社会福祉 セ ン タ ー

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
		7 福祉サービス利用者意向調査キット利用料 助成金について 【研修会】 テーマ： 高齢者施設における自然災害への対策-事業 継続計画（BCP）の運用を考える- 講師： 株式会社 CoAct 代表取締役 渡嘉敷唯之氏 社会福祉法人同愛会 理事長 菊地月香氏		
9 月 27 日	第 2 回 委 員 会	1 かながわ高齢者福祉研究大会事業の進捗 状況について 2 高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）について 3 課題別部会について 4 各ブロックの取組状況について	県老施協委員	県社会福祉 セ ン タ ー
2 月 6 日	第 3 回 委 員 会	1 かながわ高齢者福祉研究大会事業の進捗状 況について 2 高齢者福祉施設 PR 委員会について 3 課題別部会について 4 任期満了に伴う委員改選について 5 第 2 回総会・第 3 回研修会について 6 令和 7 年度事業計画および収支予算（案）に ついて 7 令和 7 年度県社協政策提言活動への協力依頼 について 8 各ブロックの取組状況について	県老施協委員	県社会福祉 セ ン タ ー
3 月 13 日	第 2 回 総 会 ・ 研 修 会	1 任期満了に伴う委員改選について 2 令和 7 年度事業計画および収支予算（案）に ついて 3 高齢者福祉施設 PR 委員会について 4 課題別部会について 5 かながわ高齢者福祉研究大会事業の進捗 状況について 6 その他 【研修会】 テーマ： 地域から選ばれ、自分たちが誇れる施設である ために～CS（ご利用者様満足度）の向上を 目指して～ 講 師： 株式会社 STS ラーニング 本間純氏	県 老 施 協 会 員 施 設 等	県社会福祉 セ ン タ ー

・かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会

委員：平山みちる氏（すえなが）、白井裕一氏（富士見プラザ）、藤田茂樹氏（藤英会）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
4 月 9 日	第 4 回	1 新しいかながわ高齢者福祉研究大会のテーマ 構成について 2 推薦する演題数の各ブロック調整について 3 アーカイブ配信・発表の蓄積のためのシステム 構築について	委 員	県社会福祉 セ ン タ ー

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
		4 今後のあり方検討会から検討チームの再編成について 5 その他		
5 月 21 日	第 5 回	1 新しいかながわ高齢者福祉研究大会のテーマ構成について 2 介護技術発表のテーマについて 3 総会時の資料及び説明について 4 かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会の開催時期について 5 今後のあり方検討会メンバー以外の選出について 6 その他	委 員	県社会福祉センター

※昨年度からの継続会議のため第4回からとなっています。

・第22回かながわ高齢者福祉研究大会

実行委員：平山みちる氏（すえなが）、古敷谷耕平氏（大師の里）、岩壁信行氏（等々力）、茶園恵美子氏（多摩川の里）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
8 月 7 日	第 1 回 実行委員会	1 実行委員長の選出について 2 第22回かながわ高齢者福祉研究大会の企画・収支予算（案）について 3 係別確認事項について	実 行 委 員	県社会福祉センター
10 月 15 日	第 2 回 実行委員会	1 第1回実行委員会検討内容振り返り 2 今後のスケジュールについて 3 係別打ち合わせ 4 その他	実 行 委 員	県社会福祉センター
12 月 25 日	第 3 回 実行委員会	1 第2回実行委員会検討内容振り返り 2 今後のスケジュールについて 3 係別打ち合わせ 4 その他	実 行 委 員	県社会福祉センター

・高齢者福祉施設 PR 委員会

委員：白井裕一氏（富士見プラザ）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
11 月 8 日	第 1 回 委 員 会	1 本委員会の進め方について 2 県老協 HP の立て付けについて	白 井 委 員	県社会福祉センター
10 月 15 日	第 2 回 委 員 会	1 県老協 HP の構成について 2 PR 部運営体制について	白 井 委 員	県社会福祉センター
12 月 25 日	第 3 回 委 員 会	1 県老協 HP の構成について 2 取材班の役割について	白 井 委 員	県社会福祉センター
3 月 3 日	第 4 回 委 員 会	1 県老協 HP の構成について 2 施設職員の公募・大学生等への協力依頼について	白 井 委 員	県社会福祉センター

・課題別部会

課題別部会委員：

【施設運営】白井裕一氏（富士見プラザ）、関口英志氏（おだかの郷）

【人材確保等】小林秀夫氏（新緑の郷）、岩壁信行氏（等々力）

【災害対応】山口皓史氏（生田まほろば）、稲垣仁久氏（わらく桃の丘）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
1 月 24 日	施 設 運 営 に 関 する 部 会	1 本部会の進め方について 2 各ブロックの取組状況について	部 会 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
3 月 21 日	人材確保等 に 関 する 部 会	1 本部会の進め方について 2 人材確保に関する現在の情勢について 報告：株式会社リクルート HELPMAN JAPAN 株式会社レオパレス 21 3 各ブロックの取組状況について	部 会 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
5 月 17 日 9 月 2 日 1 月 30 日	災 害 対 応 に 関 する 部 会	1 第 1 回災害対応に関する研修会について 2 各ブロックの取組状況について 3 第 2 回災害対応に関する研修会について	部 会 委 員	県社会福祉 セ ン タ ー
		【研修】 テーマ： 事業継続計画 (BCP) シミュレーション研修 ー実行性のある BCP に向けてー 講 師： 福祉マネジメント&デザイン代表 水田智博氏	県老施協 会 員 施 設 27 名参加	神 奈 川 県 歯 科 大 学 付 属 横 浜 ク リ ニ ッ ク 横 浜 研 修 セ ン タ ー

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会・防災班長会議

第5回災害プロジェクト委員会・防災班長会議 / 1月21日（火）14時～15時

«協議概要»

① 令和6年度 E-Welfiss 及び防災無線機を活用した情報伝達訓練実施結果について

別紙報告書に基づき危機管理担当より報告。

② 令和7年度老人福祉施設協議会災害プロジェクト委員会事業計画（案）について

1 会議

災害プロジェクト委員会：適宜開催する。（年5回程度）

2 活動内容

（1）災害に関する研修会等の開催について

○BCP に基づく研修・訓練及びその振り返りに基づいた BCP の見直しに関する研修会を開催する。

○市内の施設間連携を進めていくため他都市の取組み等を聞き、災害時に同じ地域の施設間で協力できることを再考する契機となる研修会の開催や情報提供を行う。

→BCP に関する研修を定期的実施することで自施設の BCP の精度を上げる機会とする。
グループワークを取り入れることで他施設との情報交換をする機会とする。

障害や保育等、分野をこえて周知することで種別を越えた情報交換の機会を創出する。

新しい施設長も増えてきたので、E-Welfiss の操作説明会・講習会を実施できると良いかもしれない。

（2）施設間連携及び情報共有について（川崎市内施設での施設間連携）

○「非常災害時の相互の応援に関する規約」や「災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）」を運用し、実効性のある施設間連携を推進する。

○川崎市内の施設間連携及び情報共有をより一層進めていくため、他都市との情報交換や意見交換を実施する。

→横浜市社協高齢福祉部会との情報交換会は次年度も開催したいが、明確なテーマ設定をすることでより意義のある情報交換会とする。

（3）各施設・各区単位での災害時シミュレーション訓練の検討及び実施について

○各施設・近隣施設（区単位）で取り組めるシナリオ等の検討及び訓練を実施する。

○川崎市の情報共有システムを活用し、近隣施設（区単位やエリア単位）等との情報伝達訓練を定期的実施し、災害を想定した実効性のある施設間連携を推進する。

→E-Welfiss を操作することのできる職員を増やしたい（相談員・事務員・介護職も）。
スマホやタブレットでも E-Welfiss を使用できることを周知していく。
物資移送訓練で実際に他施設に行くことでの気づきもあるので、より実践的な訓練を
することができるように区ごとにブラッシュアップしていく。
区よりも小規模な範囲での訓練も検討する。
二次避難所の立ち上げについて検討していく（人がいない状況で受け入れることができるのか？）。

(4) その他

○その他、必要な事業を行う

③ 各班の訓練等取組み状況について

川崎：1月9日に第6回情報伝達・物資移送訓練を実施。被災想定施設は境町フェニックス。
E-Welfiss については初めて操作する方がいたので、改めて継続することの大切さを実感。
次回は4月10日にゆとりあを被災想定施設として訓練を実施。夏までには区内施設を回り
切る予定。夏以降の訓練について検討していく。

幸：3月実施に向けて被災想定施設等調整中。

中原：3月にみやうちを被災想定施設として物資移送訓練を実施予定。次年度の計画は3月の班
会議で話し合う予定。

高津：12月と1月はインフルエンザやコロナウイルスの感染拡大があり、活動はなかった。

2月12日もしくは13日で情報伝達訓練を実施する予定。次年度の計画は年度初めに
立てる予定。

宮前：フレンド神木とわらく桃の丘が被災したと想定して卓上訓練を実施。同じスレッドで情報
を入れてしまったため情報が錯綜した。スレッドは2つに分けた方が良かったという反省点
があった一方でスレッドが増えることで混乱が生じることも懸念される。情報伝達訓練を
4月15日に実施する予定。触れる機会を増やせるような取り組みをしていきたい。

多摩：1月20日に生田広場を会場として応援職員受入訓練を実施した。応援職員については事故
のリスクを鑑みて排泄介助に特化してもらっている。訓練30分、班会議30分とすること
で各施設の負担を大きなものにしないようにしている。4月によみうりランド花ハウスを
会場として物資移送訓練を実施予定。次年度は物資移送・人的支援・物資移送・人的支援の
4回で訓練を実施していきたい。

麻生：今年度は感染症や台風等の影響で訓練が実施できていない。2月18日に訓練を実施したい
と考えており、今回は感染症等があったとしても情報伝達訓練だけは実施する。

④ E-Welfiss及び防災無線機の仕様について

- ・ インターフェースの見やすさはあるが、Line のようなポップアップ機能があると良い。
- ・ 道路状況等の写真を撮ってアップできると良い。
- ・ 防災無線機についてはエリアによって繋がりにくさがあると感じる。また、発災時に連絡の順番待ちをすることになるのか、本当に発災した時のことを想定できているのか疑問がある。

2 人材プロジェクト委員会

第6回人材プロジェクト委員会 / 3月19日（水）13時15分～

「協議概要」

① ハローワーク「福祉の仕事」説明会について

日 時：3月14日（金）13時30分～14時30分

会 場：①ハローワーク川崎 会議室

②福祉パルあさお 研修室

参加施設：2施設（介護老人福祉施設桜寿園、特別養護老人ホームかないばら苑）

参 加 者：①説明会16名（就職相談会14名）

②説明会12名（就職相談会12名）

(1) 川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について

福祉の仕事・資格の案内

(2) 施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 吉野施設長

(3) 福祉の現場からの声

司会：人材プロジェクト委員会 吉野施設長

「参考」令和6年度の福祉の仕事説明会

日程	委員（南）	委員（北）
5/17（金）	<u>すみよし 和田施設長（講話①）</u> ※ハローワーク川崎	<u>等々力 岩壁施設長（司会）</u> ※福祉パルなかはら
7/19（金）	※ハローワーク川崎	<u>すえなが 平山施設長（講話①・司会）</u> ※福祉パルたかつ
9/13（金）	<u>大師の里 古敷谷施設長（講話①・司会）</u> ※ハローワーク川崎	※エポックなかはら
11/12（火）	<u>しおん 伊藤施設長（司会）</u> ※ハローワーク川崎	※福祉パルみやまえ
1/17（金）	※ハローワーク川崎	<u>多摩川の里 茶園施設長（司会）</u> ※多摩市民館第1会議室
3/14（金）	※ハローワーク川崎	<u>金井原苑 吉野施設長（司会）</u> ※福祉パルあさお

② 令和8年度 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について

○ハローワーク川崎

介護の仕事内容について大枠を把握している求職者が増えていること、福祉の現場からの声と座談会の内容が重複しているように感じられることから、次年度の「福祉の仕事」**説明会**部分については依頼しない（就職相談会については継続）。

→次年度の取り組みとしては、ハローワーク川崎と人材バンクとの共催事業として、座談会・就職相談会のみ実施。

○ハローワーク川崎北

人材バンクと開催方法についての意向の相違で、福祉の仕事説明会・相談会を実施しない。

→介護の日関連で介護フェア等をハローワーク川崎北主催で実施するイベント等に協力することはできるので声をかけてほしい。

⇒令和7年度早々にハローワーク川崎ならびにハローワーク川崎北に出向き、人材PJ委員会として何ができるのかを説明する。

⇒各区を回る人材確保に係る企画を検討する。

③ インドネシア日本語学校 CBI 訪問について

日 時：令和7年1月19日～22日

訪問先：インドネシア ボゴール

訪問者：社会福祉法人 春日会、公益社団法人 東京都建設事業協会

報 告：日本で長く働きたい場合、介護福祉士資格を取得し特定技能2号にする必要がある。実務経験3年ないと介護福祉士資格を取得することができないので、特定技能1号で日本に来ると資格挑戦の機会が2回しかない。技能実習1号と2号で3年間経過した後に特定技能1号に切り替えるなら5回資格挑戦の機会を得られる。

3年間のアドバンテージで日本語もそれだけ堪能になるため資格合格率も上がるという話を日本語学校でしてきた。

道徳基準や衛生感覚が日本とは大きく異なることを肌で感じた。

⇒日本の貨幣価値下落に伴い人気なくなっていると聞いたことがあるが、そんなことはないのか？

→一部オーストラリアやヨーロッパに流れている傾向はあるが、日本の人気はいまだに高い。

④ 令和7年度人材プロジェクト委員会事業計画（案）について

①会議：奇数月第3水曜日の午後2時から開催（原則）

②活動内容：各検討事項の共有及び協議、全体での事業実施

福祉人材バンク、総合研修センター、川崎市老人福祉施設事業協会等の関係機関との連携及び実施事業への協力

③重点取組：

人材発掘

- ・近隣の福祉系大学や高校の福祉科をターゲットにした取り組み（大学のゼミに向けた出張講座や座談会など）
- ・小中学校に向けた取り組み（ガイドブックの更新及び広報など）
- ・第2新卒やセカンドキャリアへのアプローチ機会の検討
- ・関係機関（ハローワークや人材バンク等）との連携協力

人材確保

- ・外国人介護人材に関する情報収集および情報提供
- ・SNSを活用した人材確保策の検討および実施（ショート動画の発信や効果的な求人情報の発信）

人材育成・定着

- ・既に働いている職員を対象とした研修の検討や研修参加促進に向けた取り組み
- ・職員定着に向けた施設長や主任クラス職員への研修の検討
- ・市内で働き続けてもらうための仕組みや要望事項の検討

⑤ 今後の予定

第1回人材プロジェクト委員会 / 5月21日（水）14時～

情報交換について

1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

（１）会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

（２）正副会長等会議において、施設長会での情報交換テーマを検討します。

（３）施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 令和 7 年度第 1 回施設長会の情報交換会のテーマについて

※議題が多いため特にテーマは設けません。

時間に余裕がありましたら近隣施設の方と挨拶を交わして顔の見える関係づくりをしてください。

3 過去の情報交換会テーマ一覧

【令和 3 年度】

6 月 16 日	アフターコロナの施設運営について
8 月 25 日	新型コロナウイルス感染症への対応について
10 月 20 日	With コロナの施設運営について
12 月 15 日	科学的介護情報システム「LIFE」について
動画配信	介護職員処遇改善支援補助金について

【令和 4 年度】

6 月 15 日	施設におけるコロナ対応について～第 6 波終了の今、第 7 波に備えて～
8 月 25 日	新型コロナウイルス第 7 波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10 月 19 日	I C T 機器の導入について
12 月 21 日	【中間報告】第 3 回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2 月 15 日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

【令和5年度】

4月19日	災害について（各区の防災班長・副長について）
6月21日	新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について
8月23日	派遣職員と人材紹介事業所について
10月18日	派遣職員と人材紹介事業所について～part2～
12月20日	容態急変等による救急対応や看取りの現状について
2月21日	人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について

【令和6年度】

4月17日	介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるのか
6月19日	経営政策研究ワーキングで協議した内容（人材育成）について
8月28日	介護報酬改定を受けて取り組みが変化したことや新たに取り組むようになったこと
10月16日	物価高騰に伴い事業者との関りで困っていること、不安に感じていること
12月18日	物価高騰・人材確保・人事管理等の対応で施設長として悩むこと
2月19日	各施設で今年度一番対応に困ったこと

<課題別部会について>

■施設運営に関する部会

第1回部会（令和7年1月24日 オンライン開催）

議題（1）本部会の進め方について

（2）各ブロックの取組状況について

前プロジェクト会議で報告書を作成した第3階（2021年度報告）の8つの主要論点のうち、他の部会である人材確保等に関する部会に関連しそうな項目を除く5つの主要論点について部会メンバーより現在の状況を聴き、情報共有を行った。

【主要論点】

- ①特養の経営概況（主に収益性）
- ②利用率低下の一因である待機者の減少と施設整備等との関連
- ③介護・看護配置基準と収益性や人件費負担、人材派遣依存との関係
- ④介護報酬改定に伴う新加算への対応強化と加算要件への要望等
- ⑤現場における生産性向上と福祉機器・ICTの導入活用を支援する施策

上記の情報共有とも関連して、担当副会長（県高齢協 加藤会長）より、一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会の「神奈川県高齢者施設整備状況調査報告書」の概要及び直近のデータを提供いただき、さらに情報共有を進め、全県協働の課題や喫緊の課題について整理した。

■人材確保等に関する部会

第1回部会（令和7年3月21日 開催）

議題（1）本部会の進め方

（2）人材確保に関する現在の情勢について

報告：（株）リクルート HELPMAN JAPAN、（株）レオパレス21 ※各30分

※部会リーダーを等々力 岩壁氏に変更。

■災害対応に関する部会

第2回研修会（令和7年1月30日 開催）

テーマ：事業継続計画（BCP）シミュレーション研修－実行性のあるBCPに向けて－

講師：福祉マネジメント&デザイン 代表 水田 智博 氏

参加者：27名

結果：とても参考になった 24名 参考になった 2名 未回答 1名

7 神社協福第 71 号
令和 7 年 2 月 17 日

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 事務局長 殿

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
事務局長 小野 真由美

神奈川県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
委員及び課題別部会メンバーの推薦について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、任期満了にともなう委員改選にあたり、貴団体から次により新委員候補者をご推薦いただきたくお願いいたします。

ご推薦は別紙推薦書により来る 3 月 31 日（月）までにメールにて事務担当あてにお送りくださいますよう併せてお願い申し上げます。

なお、期日までに回答が難しい場合には、貴団体での新委員候補者が決定次第すみやかにご提出くださいますようお願いいたします。

- | | | | |
|---|------|--------------------------------|-----|
| 1 | 選出人数 | 老人福祉施設協議会委員 | 5 名 |
| | | 施設運営に関する部会 | 2 名 |
| | | 人材確保等に関する部会 | 2 名 |
| | | 災害対応に関する部会 | 2 名 |
| 2 | 任 期 | 令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日 | |

事務担当は、
福祉サービス推進部
〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2
TEL 045-534-5662 FAX 045-312-6302
E-mail sisetu@knsyk.jp

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
任期满了に伴う老人福祉施設協議会 委員の候補者推薦書
 任期：令和7年4月1日から令和9年3月31日まで

標記委員について、次のとおり推薦いたします。

団体名

No.	委員候補者氏名	連絡先	
1	氏名	住 所	〒 ー
		T E L	
	所属施設	F A X	
		Email	
2	氏名	住 所	〒 ー
		T E L	
	所属施設	F A X	
		Email	
3	氏名	住 所	〒 ー
		T E L	
	所属施設	F A X	
		Email	
4	氏名	住 所	〒 ー
		T E L	
	所属施設	F A X	
		Email	
5	氏名	住 所	〒 ー
		T E L	
	所属施設	F A X	
		Email	

※記載いただいた情報は通知の送付等のご連絡先として使用します。

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
任期満了に伴う老人福祉施設協議会 課題別部会メンバー推薦書
 任期：令和7年4月1日から令和9年3月31日まで

団体名 _____

標記について次のとおり推薦いたします。

施設運営に関する部会（2名）

No.	1	2
氏 名		
所属施設名		
所在地	〒 ー	〒 ー
TEL		
FAX		
E-mail		

人材確保等に関する部会（2名）

No.	1	2
氏 名		
所属施設名		
所在地	〒 ー	〒 ー
TEL		
FAX		
E-mail		

災害対応に関する部会（2名）

No.	1	2
氏 名		
所属施設名		
所在地	〒 ー	〒 ー
TEL		
FAX		
E-mail		

※記載いただいた情報は通知の送付等のご連絡先として使用します。

<第22回かながわ高齢者福祉研究大会について>

1. 研究発表・介護技術発表・企業協賛の応募状況について

研究発表：36題（県域：12 横浜市域：14 川崎市域：5 相模原市域：5）

※夢見ヶ崎・等々力・新緑の郷・金井原苑・片平長寿の里

介護技術発表：10題（県域：6 横浜市域：2 川崎市域：1 相模原市域：1）

※夢見ヶ崎

企業協賛：16社（18ブース[目標40ブース]）

2. 大会参加申込みについて

2025年4月14日（月）～5月16日（金）まで（予定）

3. 日時・会場分けについて

日時：令和7年7月2日（水）午前10時～

会場：パシフィコ横浜 会議センター3階

研究発表会場 — 301・302・303・304

介護技術発表会場 — 315

受付 — 313・314



第 60 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 第 20 回アクティブ福祉 in 東京' 25 合同大会

メインテーマ

「介護・福祉の大変革 2025 ～活力ある超高齢社会のために～」

● 開催趣旨 ●

2025 年、団塊の世代が全員 75 歳以上となり、日本はかつてない超高齢社会を迎えます。物価・賃金高騰、人手不足という厳しい経営環境の中、介護・福祉の分野は大きな転換期を迎えています。この大会のテーマは、「介護・福祉の大変革 2025 ～活力ある超高齢社会のために～」です。さまざまな困難を乗り越え、より良い社会を作るためには、次の4つが不可欠となります。

1「ICT やロボット技術の活用」、2「働きやすい職場づくり」、3「多様な人材の活躍」、4「SDGs（持続可能な開発目標）に応じた経営」

つまり、従来の介護・福祉施設の仕組みそのものを大きく変革していく必要があります。

第 60 回関東ブロック老人福祉施設研究総会は、東京の高齢者福祉実践・研究発表大会「アクティブ福祉 in 東京'25」と同時開催されます。関東ブロックと東京都の研究発表を同時に聴ける貴重な機会でもあります。あなたの参加が、将来の介護・福祉を大きく変える力になります！ぜひ、この機会に仲間と一緒に、活力ある超高齢社会を創る方策について考えてみませんか。

ぜひご自身のネットワークを通じて広くお声がけください。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

東京都高齢者福祉施設協議会 会長 田中雅英

開催期日 令和7年6月12日（木）～13日（金）

会 場 1日目（全体会）：東京ビッグサイト 7階国際会議場
2日目（分科会）：TOC 有明 4 階 East & West、20 階 West Gold 20 ホール

参加対象 関東甲信越静（1都10県5政令市）の都県市の高齢者福祉の関係者および
介護・福祉に興味のある方すべて

主 催 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会、関東ブロック老人福祉施設連絡協議会、
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

共 催 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都介護保険居宅事業者連絡会

後 援 東京都、公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 東京部会、一般社団法人 日本ソーシャル
ワーク教育学校連盟、一般社団法人 東京都老人保健施設協会、公益社団法人 東京社会福祉士会、
公益社団法人 東京都介護福祉士会、日本介護福祉学会、特定非営利活動法人 東京都介護支援
専門員研究協議会、日本福祉介護情報学会、一般社団法人 日本在宅介護協会 東京・北関東支部、
公益財団法人 東京都福祉保健財団、公益社団法人 東京都看護協会、公益社団法人 東京都栄養
士会

大会スケジュール

全体会 2025 年6月12日(木)

11:30-12:30	受付
12:30-13:00	オープニングアトラクション サンバチーム G.R.E.S. ALEGRIA (アレグリア)
13:10-13:50	開会式典 ①開会のことば 東京都高齢者福祉施設協議会 会長 ②主催者あいさつ ・公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 会長 ・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 会長 ・社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 副会長 ③感謝状贈呈 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 会長 ④来賓祝辞 ⑤来賓紹介 ⑥主催者紹介 ⑦閉会のことば
14:00-14:30	基調報告 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 会長
14:30-15:00	行政報告 厚生労働省 老健局 高齢者支援課長
15:15-16:15	スペシャル対談 タレント ハリー杉山氏 × フリーアナウンサー 町 亜聖氏
16:20-16:30	次回開催県(栃木県)紹介
16:30	終了

分科会 2025 年6月13日(金)

8:30-	受付
9:00-9:15	オリエンテーション
9:15-11:55 (午前の部)	・関東ブロック老人福祉施設研究総会 分科会 ・アクティブ福祉 in 東京 '25 分科会 ※関ブロ分科会・アクティブ分科会はどちらも自由に入退室可能です。関ブロ分科会・アクティブ分科会の参加区分は設けておりませんので午後の部を含め、すべての方が自由に興味のある分科会の演題をご覧ください。
12:25-13:25 (予定)	ランチョンセミナー ※参加無料(昼食弁当をお配りします)、先着順(約150席)。 ※セミナーの内容は4月頃大会特設サイトで公開いたします。 ※申込みは一般参加者申込みサイトからお願いします。
13:35-14:50 (午後の部)	アクティブ福祉 in 東京 '25 分科会

▽関東ブロック老人福祉施設研究総会の分科会テーマ(5つ)

- ①認知症対応 / 医療・介護連携、看取り ②自立支援(リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養)
 ③経営、人材確保・育成・定着 ④在宅・デイ ⑤軽費老人ホーム・ケアハウス、養護老人ホーム

▽アクティブ福祉 in 東京 '25 の分科会テーマ(3つ)

- ①日常ケアの向上 ②科学的介護の実践・生産性向上の取り組み、地域包括ケア・地域貢献・地域共生社会
 ③次世代を見据えた人材採用・育成・定着 / 広報戦略

研究発表スケジュール

関東ブロック老人福祉施設研究総会

第1分科会 (20 階 WG202) 第2分科会 (20 階 WG201) 第3分科会 (4階 W-3・4・5) 第4分科会 (4階 W- 2)

認知症対応 / 医療・介護連携、
看取り 自立支援 (リハビリテーション・
機能訓練、口腔、栄養) 経営、人材確保・育成・定着 在宅・デイ

都県市・所属(種別) 発表趣旨 都県市・所属(種別) 発表趣旨 都県市・所属(種別) 発表趣旨 都県市・所属(種別) 発表趣旨

< オリエンテーション >

9:00

9:15

①

9:30 移動

9:35

②

9:50 移動

9:55

③

10:10 移動

10:15

④

10:30 移動

10:40

⑤

10:55 移動

11:00

⑥

11:15 移動

11:20

⑦

11:35 移動

11:40

⑧

11:55

各部屋で表彰 (～ 12:15)、ランチョンセミナー (12:25-13:25 予定)、昼食休憩 (～ 13:35)

茨城県
もみじ館
(特養)

群馬県
サンライフ問屋町
(特養)

長野県
富竹の里
(特養)

埼玉県
大浜ケアセンター
(グループホーム
大浜)
(デイ)

神奈川県
潤生園
(特養)

新潟県
わしま
(特養)

山梨県
調整中

静岡県
亀寿の郷
(特養)

東京都
白十字ホーム
(特養)

新潟県
菅名の里
(特養)

横浜市
レジデンス
常盤台
(特養)

千葉県
恵光園
(特養)

群馬県
アミーキ
(特養)

千葉県
プレミア東松戸
(特養)

群馬県
まごころ
(特養)

栃木県
みすぎの郷
(特養)

特別養護老人ホームに
おける誤嚥性肺炎予防
のための多職種協同の
取り組み事例

科学的介護システム (L
IFE) の各加算算定
に向けた取り組みや自
立支援への活用、ケア
と記録の重要性につ
いての事例

コロナ禍でも実施でき
、かつ外国籍職員も共
に楽しめる行事を検討
・企画し「ピアガーデ
ン常盤台」を開催した
事例

眠リスクを導入した
事で、新たに求められ
るサービスの質に関す
る事例発表

後回しにされがちな
、日常の口腔ケアを継
続するために多職種で
取り組んだ事例

排泄センサーテクノロ
ジーを活用し、尿漏れ
・弁漏れに悩んでいた
介護職員の生産性向上
に取り組んだ事例

嗜好調査の電子化と AI
活用によるデータ集計
の効率化に関する事例

口腔衛生管理体制の基
本サービス義務化に伴
い、歯科医師と連携し
、包括的な口腔ケア実
践に力を入れた事例

神奈川県
ロゼホーム
つきみ野
(特養)

埼玉県
杏樹苑爽風館
(特養)

静岡県
久能の里
(特養)

東京都
TOKYO の未来を
創る社会福祉法人
協力会

栃木県
義明苑
(特養)

長野県
グリーンパルベル
(特養)

千葉県
ときわ園
(特養)

相模原市
相模原市高齢者
福祉施設協議会

研修内容の見直し、生
活環境の整備、職員の
理解増進により特定技
能外国人の受け入れ体
制を整えた取り組み事
例

排泄予測支援ロボッ
トのメーカー開発者の
アドバイスによりスタッ
フの習熟度が増し、確
にデータが取れるよう
になった事例

技能実習生を受け入れ
たことによる介護サー
ビスへの影響と、技能
実習生の職場への適応
状況や学びに関する考
察

複数法人の協働による
人材確保 (都内 10 法人
による就職フェアの開
催)

ノーリフトケアを実践
し、職員の身体や心の
変化、取り組みの現状
と課題に関する事例

5年前から管理指導部
が主導して法人全体の
キャリアパスを構築し
、職員の資質向上や対
応力の強化を実践して
いる事例

外国人職員の雇用と育
成の課題に関する事例
発表

介護の未資格人材や副
業や兼業などをする人
材を登用するための、
自施設の仕事仕分けの
重要性に関する事例

川崎市
桜寿園地域包括
支援センター
(包括)

長野県
飯田市かなえ地域
包括支援センター
(包括)

茨城県
しらとり
ハフアイン
デイサービス
(デイ)

横浜市
奉優デイサービス
センター北
(デイ)

埼玉県
飯能市地域包括
支援センター
いなり町
(包括)

さいたま市
中央区南部圏域
地域包括支援
センターきりしき
(包括)

東京都
世田谷区代沢
あんしんすこやか
センター
(包括)

千葉県
富津市天羽地区
地域包括支援
センター
(包括)

“縦割り”対応の解消を
目指したワンストップ
機能強化のための、専
門機関同士・地域住民
とのつながりづくり関
する事例

フレイル予防の啓発に
向け健康イベントを開
催し、地域住民の支援
や様々な世代の健康意
識を高めることにつな
がった事例

デイのプログラムの一つ
として、車を運転でき
る事業対象者にターゲ
ットに絞った運動に特
化したクラスを設置し
、健康寿命を伸ばす取
組み

コロナ禍からの稼働減
少を踏まえ、サービス
提供の見直しを行い
、利用者満足度向上に
向けて取組んだ事例

住民の外出機会増加を
期待し、地域にカーレ
ットクラブを創設した
ことで、閉じこもり予
防につなげた事例

社会資源の地図アプリ
を自主制作し、「地域活
動に参加したい住民」
と「地域活動」をマッ
チングすることでフレ
イル予防を推進した事
例

法人後見受任への挑戦
(福祉ニーズに対応した
法人後見事業の実現)

地域包括ケアシステム
の推進を目的とした
、住民、医療、警察機
関等との連携とその
効果に関する事例

関東ブロック老人福祉施設研究総会		アクティブ福祉 in 東京 '25					
第5分科会（4階 W- 1）		第6分科会（4階 E-4）		第7分科会（4階 E-2・3）		第8分科会（4階 E-1）	
軽費老人ホーム・ケアハウス、 養護老人ホーム		日常ケアの向上		科学的介護の実践・生産性向上 の取り組み、地域包括ケア・ 地域貢献・地域共生社会		次世代を見据えた人材採用・ 育成・定着 / 広報戦略	
都県市・所属(種別)	発表趣旨	所属（種別）	主題	所属（種別）	主題	所属（種別）	主題
＜ オリエンテーション ＞							
栃木県 ケアハウスフローラ （軽費・ケア）	町行政との密接な連携の下、コミュニティケアやき館を活用することで地域の振興及び福祉の充実をもたらした事例	デイサービス 博水の郷 （デイ）	稼働率向上への取り組み	株式会社 グッドライフケア 東京 （居宅）	医療連携室が創る新たな在宅支援へのアプローチ	マイホーム新川 （特養）	外国人職員との協働について
東京都 偕生園 （養護）	養護老人ホーム10年間の推移と新たな提案（今、養護老人ホームが社会に求められていることに関する考察）	特別養護 老人ホーム谷中 （特養）	最後まで経口摂取にこだわり、誤嚥予防に取り組んだ20年	やすらぎの家 （特養）	特別養護老人ホームが地域福祉の活動拠点となるための実践	シャローム本天沼 （グループホーム）	介護職員のストレスと仕事のやりがいについて
群馬県 ケアハウス前橋 （軽費・ケア）	なぜなぜ分析による不適切な言動の深掘りやケア会議での職員教育を行うことで職員の意識変化をもたらした事例	昭島市 高齢者 在宅サービス センター愛全園 （デイ）	園芸療法 アーシング でデトックス	特別養護 老人ホーム 博水の郷 （特養）	働きやすい職場による利用者満足度の向上	日の出紫苑 （特養）	外国人介護職員の定着に向けた取り組み
静岡県 掛川市 ききょう荘 （養護）	虐待の芽チェックリストだけではなく、様々な方向からアプローチすることで、「あたたかい活動」が生まれた事例	第二偕生園ホーム （特養）	ショートステイ利用者の認知症ケア実践における改善事例	株式会社 グッドライフケア 東京 （居宅）	多職種連携における日々のデータ記録の標準化と活用モデルの提案	今井苑 （特養）	研修制度の見直しと改善に向けた取り組み
千葉県 福寿荘 （軽費・ケア）	地域ケア会議を契機に複数法人が連携し、買い物難民のための買い物支援事業を実施した事例	増戸ホーム （特養）	入居の方のADL維持とQOL向上を目指し、職員も元気になっていく取り組み	好日苑 （特養）	介護ロボット等を活用して「持ち上げない介護」の実践による生産性向上の取り組み	癒しの里南千住 （特養）	法人内の人材定着を目的とした発信活動の意識調査
神奈川県 藤沢 養護老人ホーム （養護）	養護老人ホームが今日の社会情勢において求められる役割と、現在の取り組み及び今後の可能性に関する事例報告	サンホーム （軽費）	軽費老人ホームでの食事を中心とした介護予防の実践	デイサービス センター 初音の杜 （デイ）	コロナ禍から現在までの経営戦略	愛全園 （特養）	排泄ケアから学ぶ人権を守るケアへの意識改革
新潟県 ラゾス新潟東 （軽費・ケア）	従来の軽費老人ホームから介護付きケアハウスへ事業転換したことに伴う医療との連携及び看取りに対する心構えの事例	神明園 （特養）	“楽しみ”の提供からみるサクセスフル・エイジング	池袋 ほんちようの郷 （特養）	法人が主体となって取り組んだICT化と、施設における実践の成果について	ケアプラザたま （特養）	特定技能外国人職員の職場適応過程における諸課題
山梨県	調整中	白十字ホーム （特養）	排泄ケアにおける困難事例に対してのチームアプローチ	日本社会事業大学	ヤギの飼育を通じた地域交流	なぎさと楽苑 （特養）	地域活動による、職員への効果について
各部屋で表彰（～12：15）		ランチョンセミナー（12：25-13：25 予定）、昼食休憩（～13：35）					
		友愛荘 （特養）	虐待の芽チェックリストを補完する現場点検の仕組みと職員育成効果について	特別養護 老人ホーム泰山 （特養）	高齢者福祉施設での障害者入浴支援	株式会社 やさしい手 （デイ）	外国人材の日本語能力向上および介護技術向上のための生成AIを用いた学習プログラムに関する質的研究
		偕生園ホーム （特養）	口腔ケアの質の向上への取り組み	向台町地域包括 支援センター （包括）	「地域を元気にする」社会福祉法人のアプローチ	今井苑 （特養）	疑問符の常用による言葉で縛らないケア
		青葉台さくら苑 （特養）	褥瘡ケアにおける心理、社会的状態の改善による相乗効果	友愛荘 （特養）	雑巾制作を通じたご利用者の余暇活動の充実と社会参加の実践	等々力の家 （特養）	本気の避難訓練
		癒しの里南千住 （特養）	特養における個別機能訓練・リハ・口腔・栄養の一体的取組による介入効果	高齢者あんしん 相談センター 大和田 （包括）	団地の見守り活動が住民主体で継続していくための支援	調布市地域包括 支援センター ときわぎ国領 （包括）	当事者の想いを逐語録としてまとめた「わたしの想い」プロジェクトの効果

お申し込みのご案内

1 お申し込み方法について

①参加・宿泊は、下記サイトよりお申し込みください。

【申込サイト URL】	https://www.mwt-mice.com/events/kanto2025
【申込締切日】	令和7年5月22日(木) (※宿泊申込み期限は4月30日(水)になりますので、ご注意ください)
【参加費】	お一人様 15,000円 (税込)



- ※上記ウェブサイトから申込み専用サイトにアクセスのうえ、必要事項を入力してください。
- ※施設、事業所単位でまとめて申込ください。
- ※申込完了後24時間以内にご登録いただいたメールアドレス宛に「申込完了メール」が送信されますので、必ずご確認ください。
- ※大会参加費入金後の取り消しについては、参加費の返金は致しません。

②申込み後、5月29日(木)までに費用をお振込みください。

参加申込み専用サイトから請求書をダウンロードしてください。
請求書に金額・振込先口座が明記されておりますので、期日までにお振込みください。

以下に該当する方のお支払い内容(金額等)は、別途名鉄観光よりご案内いたします。
ご案内後にお支払いをお願いいたします。
分科会評価者、東京都感謝状代表受賞者、各都県市老施協代表者、大会運営スタッフ

- ※振込手数料は、申込者様でご負担ください。
- ※お振込みいただいた参加費は、返金いたしません。
- ※領収書はお振込みの控え等をもって代えさせていただきます。

③申込み専用サイトから参加券類をダウンロードしてください。

ご入金確認後、開催1～2週間前をめどに最終のご案内をメール送信します。
メール内容をご確認いただき、お申込者自身で参加券をダウンロード・プリントアウトのうえ、
大会当日、会場受付にご提出ください。

- ※各種ご案内が届かない場合は、名鉄観光サービス(株) MICE センターへご連絡ください。

2 ランチョンセミナー・昼食について

①ランチョンセミナーでは、複数の企業・団体様より、高齢者福祉・介護サービスの品質向上ならびに、
福祉・介護職の資質や技術向上に資する内容の講演またはプレゼンテーションを頂きます。

期 日：令和7年6月13日(金) 12時25分～13時25分(予定)

参加費：無料(昼食弁当をお配りいたします。)

- ※お申込みは先着です。(定員：約150名)
- ※セミナーの内容は大会特設サイトにて4月頃、公開いたします。
- ※学生および同行者の方は、お申込みいただけません。

②昼食弁当のご用意はありません。

また、1日目は会場での飲食はできません。

2日目は、各自でご持参いただくか、近隣施設でおすませください。